

航空従事者学科試験問題

P4

資格	定期運送用操縦士(飛)(回)	題数及び時間	20題 40分
科目	法規 [科目コード：04]	記号	A1CC0407B0

注 意 (1) 「航空従事者学科試験答案用紙」(マークシート)の所定の欄に、「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目」、「科目コード」、「科目コードのマーク」、「資格」、「種類」、「氏名」及び「生年月日」を記入すること。

「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目コード」及び「科目コードのマーク」の何れかに誤りがあると、コンピュータによる採点処理が不可能となるので当該科目は不合格となります。

(2) 解答は「航空従事者学科試験答案用紙」(マークシート)に記入すること。

配 点 1問 5点

判定基準 合格は100点満点の70点以上とする。

問 1 国際民間航空機関が採択する国際標準並びに勧告される方式及び手続きで該当しないものはどれか。

- (1) 実行可能な救援措置を執る。
- (2) 遭難航空機の登録国が救援措置を監督する。
- (3) 遭難航空機の登録国が必要とする救援措置を執ることの許可の約束
- (4) 遭難航空機の所有者が必要とする救援措置を執ることの許可の約束

問 2 国際民間航空条約について正しいものはどれか。

- (1) この条約は民間航空機及び国の航空機に適用される。
- (2) 航空機は二つ以上の国で有効に登録を受けることができる。
- (3) 国際航空に従事する全ての航空機は、登録を受けた国が発給し又は有効と認められた耐空証明書を備え付けなければならない。
- (4) 条約国は、その領域の上空にある航空機において写真機を使用することを禁止することができない。

問 3 遭難時に生存者の使用する対空目視信号の信号と意味の組み合わせで誤りはどれか。

- (1) 援助を要する : V
- (2) 否定 : X
- (3) 肯定 : Y
- (4) この方向に進行中 :

問 4 搜索救難の総則で、正しい組合せはどれか。

我が国の航空機の搜索救難体制は、(A)を(B)に置き、警察庁、防衛省、(C)、海上保安庁及び(D)が共同して、その実施に当たっている。

- | | A | B | C | D |
|-----|--------|----------|----------|-----|
| (1) | 搜索調整本部 | 東京空港事務所 | 国土交通省航空局 | 気象庁 |
| (2) | 救難調整本部 | 国土交通省航空局 | 東京空港事務所 | 消防庁 |
| (3) | 搜索調整本部 | 国土交通省航空局 | 東京空港事務所 | 気象庁 |
| (4) | 救難調整本部 | 東京空港事務所 | 国土交通省航空局 | 消防庁 |

問 5 進路権に関する記述で、誤りはどれか。

- (1) 飛行中の同順位の航空機相互間にあつては、他の航空機を左側に見る航空機が進路を譲らなければならない。
- (2) 正面又はこれに近い角度で接近する飛行中の同順位の航空機相互間にあつては、互いに進路を右に変えなければならない。
- (3) 前方に飛行中の航空機を他の航空機が追い越そうとする場合(上昇又は降下による追越を含む。)には、後者は、前者の右側を通過しなければならない。
- (4) 進路権を有する航空機は、その進路及び速度を維持しなければならない。

問 6 次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 特別管制空域においては、国土交通大臣の許可を得れば、飛行視程1,500mの中を計器飛行方式によらずに飛行できる。
- (2) 特別管制空域は、空域ごとにその規制が適用される時間を告示で指定することができる。
- (3) 航空機は、国土交通省令で定める高さ以上の空域においては、国土交通大臣の許可を受けた場合を除き、計器飛行方式によらなければ飛行してはならない。
- (4) 航空機は、航空交通管制区若しくは航空交通管制圏のうち国土交通大臣が告示で指定する特別管制空域においては、国土交通大臣の許可を受けた場合を除き、計器飛行方式によらなければ飛行してはならない。

問 7 次の記述で正しいものはどれか。

- (1) 打刻は、操縦室内の容易に視認できる平面部に行なわなければならない。
- (2) 識別板は、必ず、航空機の出入口の見やすい場所に取り付けなければならない。
- (3) 打刻は、亀裂の原因になるので、構造部材を避けて容易に交換可能な部材に行うこと。
- (4) 識別板は、長さ10 cm、幅7 cmの耐火性材料を用いなければならない。

問 8 以下の記述のうち誤りはどれか。

- (1) 「計器気象状態」とは、視程及び雲の状況を考慮して国土交通省令で定める視界上不良な気象状態をいう。
- (2) 「航空運送事業」とは、他人の需要に応じ、航空機を使用して有償で旅客又は貨物を運送する事業をいう。
- (3) 「国際航空運送事業」とは、本邦内の地点と本邦外の地点との間又は本邦外の各地間において行う航空運送事業をいう。
- (4) 「水平表面」とは、飛行場の標点の垂直上方45メートルの点を含む水平面のうち、この点を中心として3000メートル以下で国土交通省令で定める長さの半径で描いた円周で囲まれた部分をいう。

問 9 航空障害灯について誤りはどれか。

- (1) 高光度航空障害灯の灯光は航空白の閃光で、1分間の閃光回数は40から60までである。
- (2) 中光度白色航空障害灯の灯光は航空白の閃光で、1分間の閃光回数は40から60までである。
- (3) 中光度赤色航空障害灯の灯光は航空赤の明滅で、1分間の明滅回数は20から60までである。
- (4) 低光度航空障害灯の灯光は航空赤の不動光である。

問 10 運航規程に記載する必要のない事項は次のうちどれか。

- (1) 航空機の操作及び点検の方法
- (2) 航空機の運用の方法及び限界
- (3) 装備品、部品及び救急用具が正常でない場合における航空機の運用許容基準
- (4) 装備品、部品及び救急用具の限界使用時間

問 11 見張り義務について誤りはどれか。

- (1) 当該航空機外の物件を視認できない気象状態のときは見張りの義務はない。
- (2) 航空機関士は見張りの義務はない。
- (3) 模擬計器飛行中の訓練生は見張りの義務はない。
- (4) 雲が多い中を飛行中、レーダーベクターされているときは見張りの義務はない。

問 12 次に掲げる飛行場灯火の中で、夜間着陸の用に供する陸上飛行場において、設置を必要とする灯火にあたらないものはどれか。

- (1) 滑走路末端灯
- (2) 滑走路灯
- (3) 滑走路中心線灯
- (4) 風向灯

問 13 まっ消登録の申請について正しいものは次のうちどれか。

- (1) 航空機の所有者はその事由があった日から14日以内にまっ消登録をしなければならない。
- (2) 登録航空機を保管のために解体したときは、まっ消登録をしなければならない。
- (3) 登録航空機の存否が一箇月以上不明になったときは、まっ消登録をしなければならない。
- (4) 登録航空機の所有者が外国籍になったときは、まっ消登録をしなければならない。

問 14 要撃機の信号とその意味の組み合わせで誤りはどれか。

- (1) 被要撃機の信号：脚を上げつつ着陸灯を点滅しながら、使用滑走路あるいはヘリコプターの着陸すべき地点上空を飛行場標高から300m(1,000ft)を越え600m(2,000ft)を越えない高度で通過した後、使用滑走路またはヘリコプターの着陸すべき地点上空にて旋回を続ける。
意味：この飛行場に着陸します。
- (2) 被要撃機の信号：閃光灯と区別できるような方法により点灯可能なすべての灯火を規則的に点滅する。
意味：従うことができない。
- (3) 要撃機の信号：被要撃機のわずか上方で前方、通常は左側に位置して機体を振り、航空灯を不規則な間隔で点滅させ、確認した後緩やかな水平旋回、通常は左旋回し、希望する方向へ誘導する。
意味：あなたは要撃された、我が方に従って下さい。
- (4) 要撃機の信号：被要撃機の進路を横切ることなく、90°または90°以上の上昇旋回をしながら急速に被要撃機から離脱する。
意味：そのまま飛行してよろしい。

問 15 法第53条第1項（禁止行為）の飛行場の重要な設備で誤りはどれか。

- (1) エプロン
- (2) 旅客ターミナル
- (3) 格納庫
- (4) 給油施設

問 16 法第56条第3項の規定による円錐表面で、着陸帯の等級、勾配、半径の長さの関係で正しいものはどれか。

	着陸帯の等級	勾配	半径の長さ
(1)	A	50分の1	1万メートル
(2)	B	40分の1	1万メートル
(3)	C及びD	40分の1	8千メートル
(4)	E	30分の1	6千メートル

問 17 航空英語能力証明の記述で正しいものはどれか。

- (1) 航空英語能力証明は、航空業務に従事するのに必要な一般の英語に関する知識及び能力を有することについての証明である。
- (2) 航空英語能力証明の有効期間に無期限はない。
- (3) 本邦外の各地間において行う航行には航空英語能力証明は必要である。
- (4) 本邦内から出発して着陸することなしに本邦以外の国の領域を通過し、本邦内に到達する航行には航空英語能力証明は必要ない。

問 18 装備が必要な装置について誤りはどれか。

- (1) 管制圏又は管制区を航行する場合は、航空交通管制用自動応答装置を装備しなければならない。
- (2) 情報圏内を航行する場合は、いかなるときにおいても航空交通情報を提供する機関と連絡することができる無線電話を装備しなければならない。
- (3) 管制圏又は管制区を航行する場合は、いかなるときにおいても航空交通管制機関と連絡することができる無線電話を装備しなければならない。
- (4) 民間訓練試験空域を航行する場合は、いかなるときにおいても航空交通情報を提供する機関と連絡することができる無線電話を装備しなければならない。

問 19 2007年4月21日に交付された航空身体検査証明書を所持している事業用操縦士が、定期運送用操縦士の実地試験に合格し、同年7月1日に技能証明書を交付された。

このパイロットの航空身体検査証明の有効期限で正しいものはどれか。

- (1) 2007年9月20日
- (2) 2007年10月20日
- (3) 2007年12月31日
- (4) 2008年4月20日

問 20 計器気象状態における飛行で正しいものはどれか。

- (1) 航空交通管制区にあっては、計器飛行により飛行しなければならない。
- (2) 航空交通管制区、航空交通管制圏または航空交通情報圏以外の空域にあっては計器飛行により飛行しなければならない。
- (3) 航空交通管制区、航空交通管制圏または航空交通情報圏以外の空域にあっては飛行してはならない。
- (4) 航空交通管制圏にあっては、計器飛行により飛行しなければならない。